

拠出金名:国際農業研究機関拠出金

国際機関等名	国際とうもろこし・小麦改良センター (英文名称・略称) International Maize and Wheat Improvement Center (CIMMYT)				
種別	国連(事務局)	国連(基金・計画)	国連専門機関	その他	
所管官庁担当局課名	農林水産省農林水産技術会議事務局国際研究課				
最近3年間の我が国支払額及びODA率					
単位	邦貨 (千円)	外貨1 (千ドル)	外貨2 (千)	レート	ODA率(%)
平成22年度	-	-	-	-	-
平成21年度	-	-	-	-	-
平成20年度	57,567	509		1米ドル = 113円	100
当該拠出金の目的・用途等	研究プロジェクトの実施				
拠出上位5ヶ国・地域・機関等 (2010年のもの)				国際機関等の財政 (2010年度決算)(百万米ドル)	
	国名	金額 (千ドル)	拠出率 (%)	当該年度の収入	60.8
1位	ビル&メリンダ・ゲイツ財団	非公表	-	当該年度の支出	56.0
2位	米国	非公表	-	次年度への繰越	4.8
3位	オーストラリア	非公表	-	会計検査機関名	
4位				Deloitte Touché Tohmatsu	
5位					
CIMMYTの公表資料に基づく順位(2010年の日本の拠出はなし)					
当該機関等に対する我が国としての評価 (合理化、機能強化のための改革が行われているか、当該機関等の政策に対する我が国の意見の反映度を含む)					
財政難にあったCIMMYTの所長として平成14年に赴任した岩永勝氏が財政再建を成し遂げた実績は世界的に高い評価を受けている。CIMMYTは緑の革命の功績によりノーベル賞を受賞した故ボーローグ博士が所属したことが有名で、現在でも世界の小麦研究のセンター的な役割を果たし多数の遺伝資源を保有しており、赤かび病抵抗性のほか干ばつ耐性の育種等の分野で我が国と連携を密にすることにより開発途上国の持続的農業の発展に貢献するだけでなく我が国の小麦品種改良にとっても重要であると考えている。					
邦人職員数 うち幹部以上	1人 うち0人	当該機関全体の職員数 及び邦人職員が占める率	643人うち 国際職員101人 国際職員中1.0%		
邦人職員が占めている幹部ポスト					
ポストの名称		職員氏名		備考	
理事		岩元睦夫		(社)農林水産先端技術産業振興センター理事 理事長 理事は職員数にカウントされない。	
当該機関重要ポストへの邦人職員送り込みについての具体的な計画					
当該機関においては、前所長が邦人であったことに加え、理事に関しても、これまで多くの邦人理事が選出されている。現在も13名の理事のうち1名の邦人理事が選出されている。今後ともCIMMYTの主要ポストに対し、邦人の雇用に加え、様々な形態で邦人職員を派遣するための活動を行うこととしている。職員を派遣する等今後も積極的に邦人を送り込むための活動を行うこととしている。					